

戦略シート(事業計画)
の最新版はこちら



主要課題 No.36 地域コミュニティの活性化

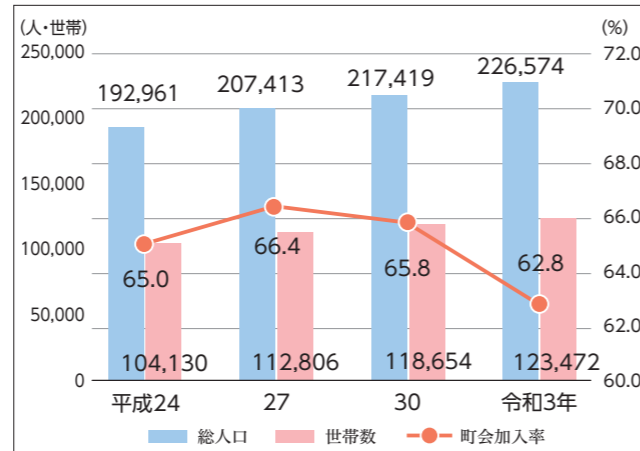


現状

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、地域コミュニティの核となる町会・自治会活動が、休止や規模の縮小など停滞していました。区では、町会・自治会へのコミュニティ活動助成金の交付やSNS活用講座等の実施により、地域活動の再開を支援してきました。
- ▶ 町会・自治会役員の高齢化や、担い手が不足していることに加え、町会加入率は減少傾向にあり、今後の地域コミュニティの存続には、更なる取組を図る必要があります。
- ▶ 区では、社会福祉協議会・中間支援組織「ファミコム」との連携による、文京区の課題解決や活性化を目指す提案公募型協働事業「Bチャレ」等を実施することにより、地域の担い手の創出や、地域団体の育成支援等を行っています。
- ▶ また、地域活動センターでは、地域コミュニティの活動拠点として、「ふれあいサロン事業」等の事業により、多様な団体や地域住民によるコミュニティ形成の場を提供しています。

関連データ

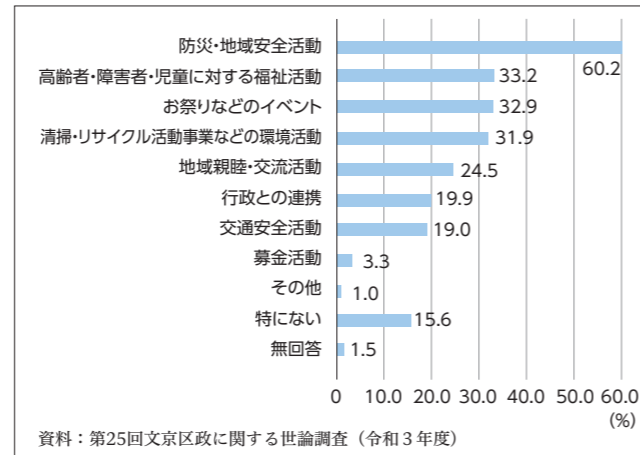
①人口・世帯数と町会加入率の推移



資料：文京の統計、文京区政に関する世論調査

町会加入率は平成27年に一時的に増加したものの、減少傾向が続いており、加入率の低下が課題となっています。

②町会・自治会に期待すること



町会・自治会の役割として最も期待されていることは防災・地域安全活動であり、前回調査とおおむね変化していません。

課題解決に向けて取り組むべきこと

- 地域コミュニティの核となる町会・自治会に対して、活動の活性化及び組織体制の強化につながる支援が必要です。
- 町会・自治会などが行う地域コミュニティ活動の担い手の発掘及び育成が必要です。
- 区民や地域活動団体との地域課題の共有及び課題解決への取組に対する支援が必要です。

4年後の目指す姿

区民をはじめ、区にかかわるあらゆる立場の人がつながり、積極的に地域活動に参加することで、自らまちの課題を解決し、だれもが安心して暮らせる、活気あふれる地域活動が行われている。

計画期間の方向性

● 地域活動団体の支援

地域コミュニティの核である町会・自治会の積極的な周知や加入促進に取り組み、活動の活性化及び組織体制の強化につなげます。また、地域コミュニティ活動の支援により、地域コミュニティの活性化につなげます。

● 地域の担い手の発掘・育成

地域活動センターを通じて発掘した人材を中間支援施設「ファミコム」につなげていくことで、地域における新たな担い手の発掘・育成に取り組むとともに、NPOや事業者など、様々な地域活動団体との協働事業を推進し、地域活性化と地域課題の解決を図っていきます。

手段(当初事業計画)

事業番号	計画事業(所管課)	年次計画				令和6年度事業費(千円)
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
134	町会・自治会支援の推進 [区民課]	▶ 認知度向上・加入促進支援(加入促進パンフレットの配布) (町会連合会と(公社)東京都宅地建物取引業協会第四ブロックとの連携) ▶ 町会・自治会へのSNS等を活用した情報発信の促進 ▶ 町会・自治会活動支援(各種補助金) (町会連合会事業、地区町会連合会事業、町会・自治会事業、地域広報紙発行、町会・自治会会館建設) ● 町会・自治会事業補助 (地域活動の再開・活性化)				65,518
135	協働事業の推進 [区民課]	【「ファミコム」事業支援】 ▶ Bチャレ(地域課題解決のための提案公募型協働事業) ▶ ファミコムcafé・朝活(地域に関する様々なテーマ) ▶ ファミコム活動入門講座(活動のきっかけとなる入門講座) ▶ どっとファミコム(地域活動の情報サイト) 等 ▶ 地域活動団体(町会・自治会、NPO等)の交流会 ▶ 協働に関する意識啓発研修(職員向け) ▶ 大塚地域活動センターを活用した地域連携の推進 (大学・企業等と連携したイベントの実施等)				33,518
136	ふれあいサロン事業 [区民課]	▶ 地域活動センター(9地区)で実施 (地域交流や地域活動の人材発掘の場) ▶ 事業内容の見直し (社会福祉協議会との連携、現役世代の参加促進等)				3,899